

漁海況情報

第455 (平成22年5月14日発行)

発行: 山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

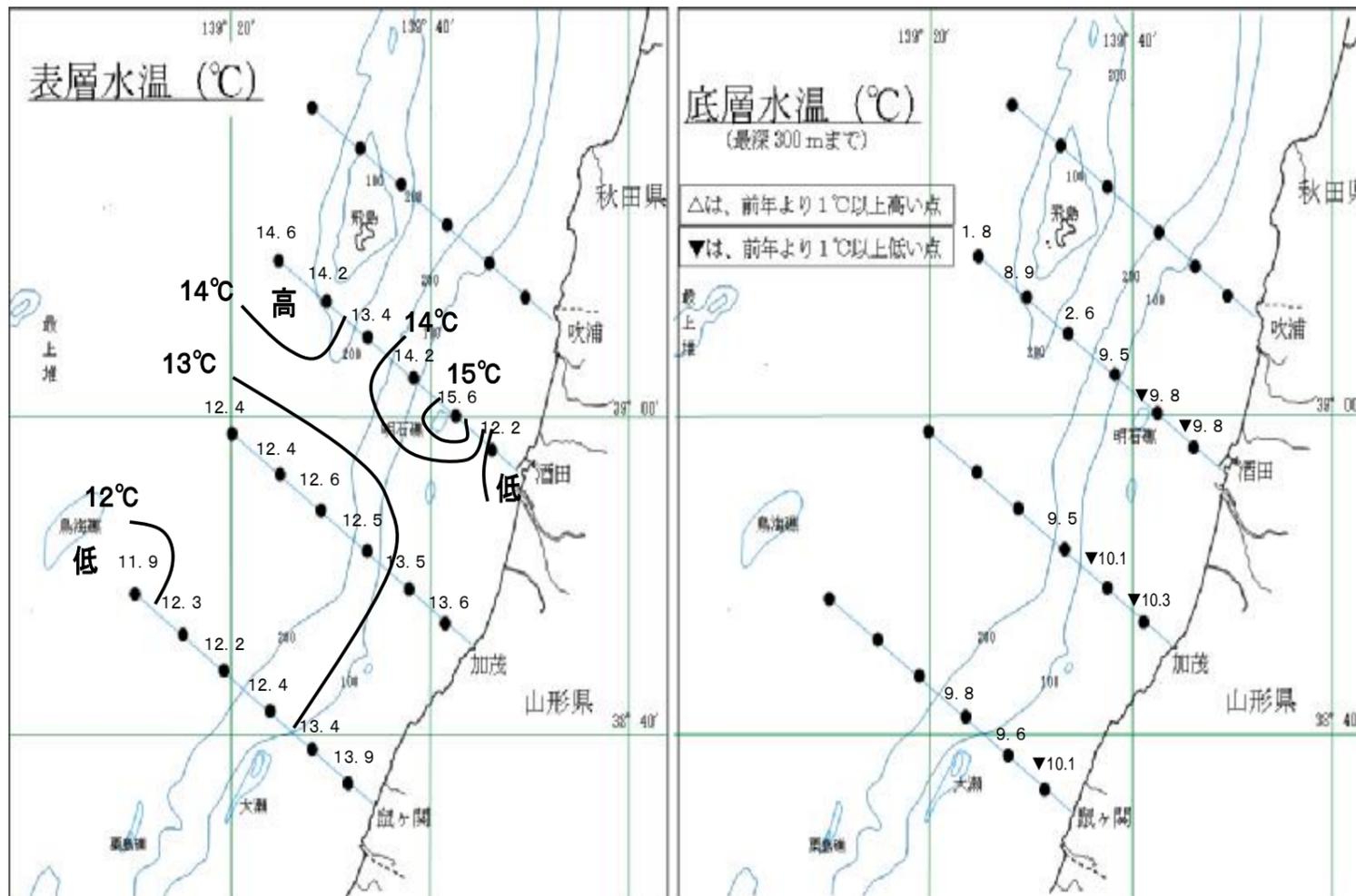
庄内総合支庁「月峯」と水産試験場「最上丸」は5月7、10日に、本県沿岸の定点観測を行いましたので、その結果を報告します。

- ・表層: 水温は11~14℃台で、平均水温は13.2℃でした。平年と比べて0.5℃高く、平年並みとなっています。
- ・50m層: 水温は9~10℃台で、平均水温は9.9℃でした。平年と比べて0.2℃低く、平年並みとなっています。
- ・100m層: 水温は9℃台で、平均水温は9.4℃でした。平年と同じ水温で、平年並みとなっています。
- ・200m層: 水温は7~8℃台で、平均水温は8.2℃でした。平年と比べて1.7℃高く、かなり高めとなっています。
- ・300m層: 水温は1~2℃台で、平均水温は2.2℃でした。平年と比べて0.3℃高く、平年並みとなっています。
- ・底層: 平均水温は6.3℃で、前年と比べて0.5℃高くなっています。沿岸寄りで前年より1℃以上低い地点があります。
- ・地先水温: 水産試験場はかなり低め、栽培漁業センターはやや低めの水温になっています。

地先水温 [4月の平均値]

単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	9.5	-1.9	-1.3	かなり低い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬)	10.0	-0.9	-0.7	やや低い



沿岸の水温は、200m層がかなり高め以外は平年並みです。底層は沿岸寄りで前年より1℃以上低い地点があります。

各層別の平均水温

単位:℃

	表層	50m層	100m層	200m層	300m層	底層
本年	13.2	9.9	9.4	8.2	2.2	6.3
前年差	+0.9	-0.7	-0.1	+2.3	+0.4	+0.5
平年差	+0.5	-0.2	±0.0	+1.7	+0.3	-
評価	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高い	平年並み	
(前月評価)	(平年並み)	(平年並み)	(やや高い)	(かなり高い)	(かなり高い)	

* 水温の表現: "平年並み"は約2年に1回、"やや"は約4年に1回、"かなり"は約10年に1回、"はなはだ"は約20年に1回の出現確率を表しています。

日本海スルメイカ長期漁況予報

水産庁は、平成22年4月30日に平成22年度第1回日本海スルメイカ長期漁況予報を発表しました。

今後の見通し(2010年5月~7月)

漁況対象魚種: スルメイカ 対象海域: 日本海
 対象漁業: 主にいか釣り漁業 対象魚群: 主に秋季発生系群

- (1) 来遊量: 昨年および近年平均を下回る。
- (2) 漁期・漁場: 昨年および近年平均よりも遅い。
- (3) 魚体の大きさ: 昨年および近年平均より小さい 「近年」は最近5年間(2005年~2009年)

* : 詳しくは以下のHPを参照ください。 <http://abchan.job.affrc.go.jp/> 又は <http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>

各種情報

1 スルメイカ情報

本県では、5月12日に初水揚げがありました。昨年より2日遅れです。念珠関総括支所が2隻で388箱(瓢箪)、酒田総合市場が1隻で198箱です。

5月上旬までの他県の状況は、境港が終漁に向かい、浜坂、香住、南浦金沢が増加してきました。主群はまだ能登半島を越えていないようです。

2 マダイ情報

5月9日以降鼠ヶ関を中心とする県南部の定置網でマダイが大量に漁獲されています。漁獲量は5月9~10日の2日間で20トンほどになりました。魚体の大きさは1~1.4kg/尾が中心です。平成3年以降ここ20年間で見られない現象です。原因は不明ですが、人工衛星の情報によると5月に入って県南部に向かって沖合から沿岸に1ノット(≒0.5m/秒)以上の強い流れが観測されています。この強い潮流に乗ってマダイが接岸した可能性も考えられます。

3 ハタハタ情報

最上丸による4~5月のハタハタ目合試験調査で、体長10cm程の1才魚(=平成21年生まれ)がまとまって漁獲されました。将来の大切な資源になる群です。ハタハタは、近年、安定した資源量を保っていますが、これも漁業者の皆様がハタハタ資源回復計画を守って操業されている効果だと思えます。

4月の漁況

概況

- ・延べ操業隻数は、2,892隻で前年比93%でした。
- ・総漁獲量は、244トンで前年比86%でした。
- ・底びき網漁業の漁獲量は154トンで、前年比89%でした。アカエビは前年を上回りましたが、スケトウダラ、タイ類、ヤナギムシガレイ、アカガレイは下回りました。
- ・定置網漁業の漁獲量は10トンで前年比46%でした。サクラマスと、アジは前年を下回りました。
- ・さし網漁業の漁獲量は31トンで前年比80%でした。メバルは前年を上回りましたが、ヒラメ、ネサシ、イシガレイ、ヤリイカは下回りました。
- ・その他の漁業では、一本釣漁業(メバル類)、かご漁業(バイ)、採貝藻漁業(アワビ、サザエ、ナマコ)は前年を上回りましたが、一本釣漁業(タイ類)、ヤリイカ定置網漁業(ヤリイカ)、は下回りました。

* 前年比は平成17～21年までの平均値と比較した値です。

全漁業支所別漁獲量

単位:kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	245	286	349	232	405	413	256	706	2,892	91%	93%
総漁獲量	15,079	12,268	40,891	5,923	38,279	27,028	9,280	95,230	243,977	84%	86%
前年比	136%	60%	69%	70%	80%	95%	60%	97%	84%		
前年比	103%	85%	90%	57%	79%	73%	96%	93%	86%		

底びき網漁業

単位:kg

支所	吹浦	酒田	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	50	97	10	62	36	174	429	91%	91%
ハタハタ	22	967		13,451	5,034	37,064	56,538	108%	105%
スケトウダラ		12		47	14	157	230	17%	2%
タイ類	24	570		153	1,496	739	2,982	29%	36%
ヒラメ	817	503	133	945	434	648	3,480	101%	113%
ヤナギガレイ	676	339	75	360	127	206	1,783	59%	60%
アカガレイ	21	97	1	256	87	913	1,375	93%	70%
アンコウ	2,670	2,495	216	1,945	804	2,477	10,607	76%	101%
アカエビ	18	8,027		36	41	13,943	22,065	110%	151%
その他	5,093	14,567	447	7,092	6,299	21,769	55,267	96%	85%
計	9,341	27,577	872	24,285	14,336	77,916	154,327	94%	89%
前年比	113%	88%	97%	75%	79%	107%	94%		
前年比	90%	93%	53%	85%	75%	93%	89%		

その他の漁業

単位:トン

漁業種類名	はえなわ漁業		一本釣漁業		やりいか定置網漁業	かご漁業	採貝藻漁業		
延べ操業隻数	561		242		14	54	578		
対象魚種	タイ類	タコ類	タイ類	メバル類	ヤリイカ	バイ	アワビ	サザエ	ナマコ
漁獲量	14.9	5.2	0.7	1.4	1.2	1.5	2.8	2.6	6.7
前年比	45%	158%	56%	176%	61%	133%	187%	199%	194%
前年比	94%	99%	73%	180%	47%	163%	353%	210%	130%

定置網漁業

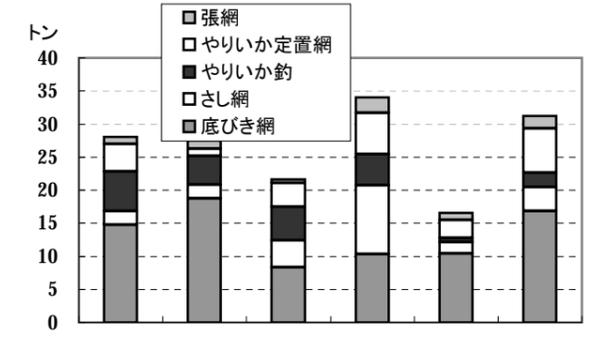
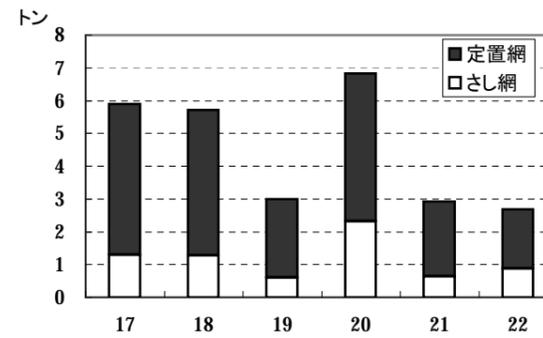
単位:kg

支所	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	9	45	22	20	96	116%	113%
サクラマス	174	622	311	213	1,320	78%	46%
スズキ	250	913	320	299	1,782	64%	109%
アジ	2	34	343	67	446	208%	5%
その他	183	3,257	2,784	602	6,826	81%	79%
計	609	4,826	3,758	1,181	10,374	79%	46%
前年比	69%	66%	93%	136%	79%		
前年比	44%	43%	44%	79%	46%		

さし網漁業

単位:kg

支所	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	念珠関	その他	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	214	187	89	73	71	101	87	822	73%	72%
ヒラメ	1	426	274	905	350	914	119	2,989	77%	60%
クチボソ	52	1,789	235	685	192	219	16	3,188	63%	82%
ネサシ	5	850	89	363	165	254	83	1,809	62%	67%
イシガレイ		392	118	31	26		207	774	40%	47%
メバル	6,403	1						6,404	52%	146%
ヤリイカ	12							12	4%	1%
シラガニ		397	209	16	24		620	1,266	117%	96%
その他	2,447	3,153	669	2,398	2,877	1,716	1,068	14,328	110%	79%
計	8,920	7,008	1,594	4,398	3,634	3,103	2,113	30,770	71%	80%
前年比	55%	57%	59%	96%	280%	69%	129%	71%		
前年比	100%	69%	54%	86%	94%	60%	85%	80%		



最上丸の調査予定 (5月中旬～6月上旬)

重要魚種の加入量調査、包括的資源回復調査、海洋観測

・ハタハタ、マダラ、カレイ類等、重要な底魚種の資源動向を明らかにするため、稚魚や幼魚の生息状況を調査します。

・海洋観測を行います。



みなさま、調査へのご協力よろしくお願いします。